

未来への森づくり県民意識調査

報告書

令和7年9月
静岡県森林計画課

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	3
4. 調査実施機関	3
5. 報告書の読み方	3
II 調査結果	4
1. 調査回答者の属性	4
2. 森林に期待する働き	5
3. 「森の力」が低下することに対する問題意識	7
4. 「森の力再生事業」への評価	9
5. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度	11
6. 「森の力再生事業」の継続に対する判断	13
7. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度別の分析	15
III 調査結果数表	19
IV 調査票	26

I 調査概要

1. 調査目的

平成 18 年度から、「森林（もり）づくり県民税」を財源とし、「森の力再生事業」による荒廃森林の整備を進めてきた。この調査は、「森の力再生事業」への県民の評価と、事業継続への県民の意向、課税についての負担感等を把握し、事業の見直しや税制度設計などの基礎資料作成を目的として実施した。

2. 調査設計

（1）調査方法：郵送法

（2）調査期間：令和 7 年 6 月 20 日(金)～7 月 22 日(火)

（3）調査対象者：県内に居住する 18 歳以上の 4,000 人

（4）調査対象者の抽出方法：層化二段無作為抽出法

①県内の市町（23 市 12 町）を、5 地域の層に分割（伊豆、東部、中部（静岡市）、志太榛原・中東遠、西部）に分類

②さらに各地域を市部と町部に分類し各層とする

③各層における 18 歳以上の人口数により、4,000 の標本数を各層別に比例配分する

④各層において、③に配分した標本数を調査対象市町の 18 歳以上の人口数により各市町に比例配分

地域別の割り振り	18 歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率 (%)
静岡県（総計）	2,996,032	100.0	4,000	1,687	42.2
伊豆半島地域	195,843	6.5	261	110	42.1
東部地域	773,302	25.8	1,032	434	42.1
中部地域	575,091	19.2	768	280	36.5
志太榛原・中東遠地域	752,981	25.1	1,006	408	40.6
西部地域	698,815	23.3	933	402	43.1
居住地無回答				53	

(5) 調査回収結果：有効回答数 1,687 件 (42.2%)

地域別の割り振り	18 歳以上人口	配分比	抽出数	回収数	回収率 (%)
静岡県（総計）	2,996,032		4,000	1,687	42.2
伊豆半島地域	195,843		261	110	42.1
市部計	162,996	83.2	217	87	40.1
町部計	32,847	16.8	44	23	52.3
東部地域	773,302		1,032	434	42.1
市部計	665,978	86.1	889	384	43.2
町部計	107,324	13.9	143	50	35.0
中部地域	575,091		768	280	36.5
市部計	575,091	100.0	768	280	36.5
志太榛原・中東遠地域	752,981		1,006	408	40.6
市部計	709,696	94.3	948	387	40.8
町部計	43,285	5.7	58	21	36.2
西部地域	698,815		933	402	43.1
市部計	698,815	100.0	933	402	43.1
居住地無回答				53	

市町別の割り振り	18 歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
伊豆半島地域				
熱海市	28,859	38	11	28.9
伊東市	55,278	74	26	35.1
下田市	16,670	22	12	54.5
伊豆市	23,678	32	12	37.5
伊豆の国市	38,511	51	26	51.0
東伊豆町	10,005	13	7	53.8
南伊豆町	6,533	9	4	44.4
河津町	5,591	7	2	28.6
松崎町	4,899	7	5	71.4
西伊豆町	5,819	8	5	62.5

東部地域	18 歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
沼津市	158,147	211	97	46.0
三島市	87,838	117	53	45.3
富士宮市	105,780	141	60	42.6
富士市	203,786	272	117	43.0
御殿場市	69,697	93	35	37.6
裾野市	40,730	55	22	40.0
函南町	30,724	41	12	29.3
清水町	26,291	35	9	25.7
長泉町	35,198	47	21	44.7
小山町	15,111	20	8	40.0

市町別の割り振り	18 歳以上人口	抽出数	回収数	回収率
中部地域				
静岡市葵区	205,856	274	98	35.8
静岡市駿河区	177,897	238	83	34.9
静岡市清水区	191,338	256	99	38.7
志太榛原・中東遠地域				
島田市	78,634	105	56	53.3
磐田市	136,134	182	81	44.5
焼津市	113,706	152	59	38.8
掛川市	94,331	126	57	45.2
藤枝市	115,834	155	52	33.5
袋井市	72,080	96	36	37.5
御前崎市	24,905	33	12	36.4
菊川市	38,803	52	16	30.8
牧之原市	35,269	47	18	38.3
吉田町	24,136	32	10	31.3
川根本町	4,967	7	4	57.1
森町	14,182	19	7	36.8
西部地域				
浜松市中央区	500,875	669	289	43.2
浜松市浜名区	127,899	171	77	45.0
浜松市天竜区	21,759	29	11	37.9
湖西市	48,282	64	25	39.1

3. 調査項目

- (1) 森林に期待する働き
- (2) 「森の力」が低下することに対する問題意識
- (3) 「森の力再生事業」への評価
- (4) 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度
- (5) 「森の力再生事業」の継続に対する判断
- (6) 森の力再生事業や森林（もり）づくり県民税についての意見や感想
- (7) 回答者属性（年代、居住地の市町）

4. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ 静岡支店

5. 報告書の読み方

- (1) 図表中の「n」は回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数を表す。
- (2) 数値（%）は小数第2位を四捨五入し、表示しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 調査対象者の属性に「無回答」があるため、数表や図表の内訳の合計が全体の回答者数と異なる場合がある。「無回答」は全体母数に含めて割合を算出している。
- (5) 回答者数が10件未満の結果は、分析の記載を割愛する。
- (6) 本文中の帯グラフは5%未満のラベルは非表示としている。

II 調査結果

1. 調査回答者の属性

(1) 年齢

	回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	1,687件 100.0%	8件 0.5%	59件 3.5%	129件 7.6%	260件 15.4%	391件 23.2%	433件 25.7%	352件 20.9%	55件 3.3%

(2) 住まいの地域

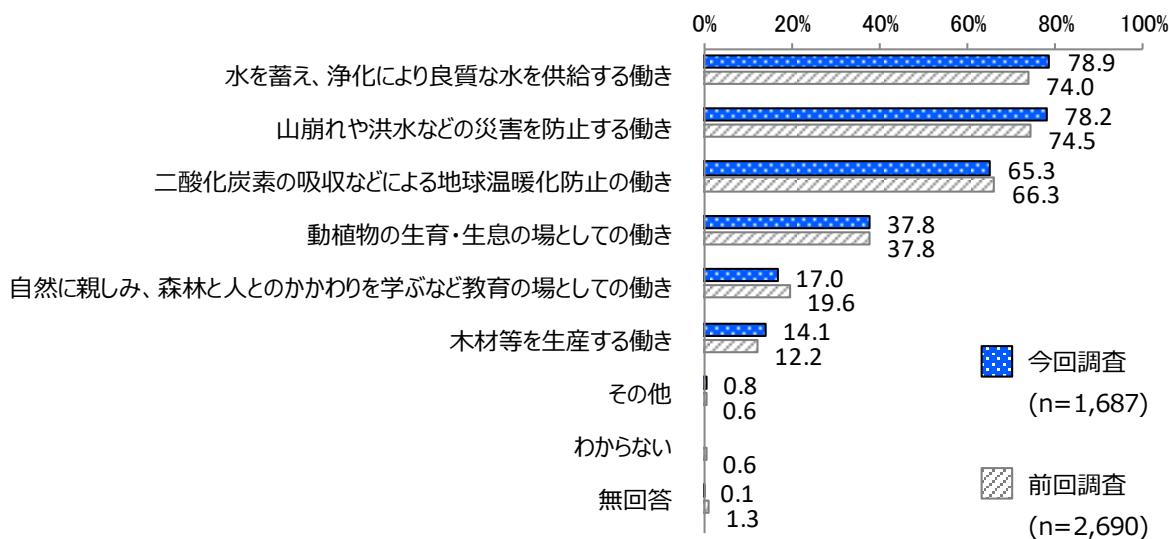
	回答数	伊豆半島地域	東部地域	中部地域	中志東太遠榛地域・	西部地域	無回答
全 体	1,687件 100.0%	110件 6.5%	434件 25.7%	280件 16.6%	408件 24.2%	402件 23.8%	53件 3.1%

2. 森林に期待する働き

(問1) 静岡県の県土の3分の2を占めている森林は私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。
(3つまで回答)

森林に期待する働きについて「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」(78.9%)が最も高く、次いで「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」(78.2%)、「二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き」(65.3%)となっている。

前回調査との差が最も大きい項目は「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」であり、今回調査が4.9ポイント上回っている。



※今回調査では「わからない」は削除。

図1 (問1全体結果)

年代別にみると、20代、40代、50代は「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」、30代、60代、70歳以上は「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」が最も高い。また、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」は年代が上がるにつれて、おおむね高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」は東部地域（79.7%）、中部地域（80.7%）、志太榛原・中東遠地域（80.1%）の3地域で最も高く、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」は伊豆半島地域（80.9%）、西部地域（80.3%）の2地域で最も高くなっている。

		回答数	良水質をな蓄え、を供給するによる働き	を山崩れする洪働きなど災害	働きによる地球温暖化の防止止などの働き	木材等を生産する働き	とししての働きの生育・生息の場	動植物の働きに親しむ、息の場	教育と自然の場に親しむ、の学ぶ森林とど人	その他	無回答
全 体		1,687件	1,331件 78.9%	1,319件 78.2%	1,101件 65.3%	238件 14.1%	638件 37.8%	287件 17.0%	14件 0.8%	1件 0.1%	
年 代 別	10代	8件	62.5%	62.5%	75.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	
	20代	59件	64.4%	61.0%	61.0%	20.3%	57.6%	16.9%	0.0%	0.0%	
	30代	129件	70.5%	76.0%	58.9%	13.2%	45.0%	20.2%	0.0%	0.0%	
	40代	260件	81.2%	76.2%	59.2%	17.3%	39.2%	20.0%	1.2%	0.0%	
	50代	391件	78.8%	77.2%	69.1%	14.6%	37.6%	15.3%	1.3%	0.0%	
	60代	433件	80.6%	81.8%	67.4%	9.9%	37.4%	14.1%	0.5%	0.0%	
	70歳以上	352件	79.8%	80.7%	65.6%	16.2%	32.1%	17.9%	0.9%	0.3%	
地 域 別	伊豆半島地域	110件	75.5%	80.9%	68.2%	17.3%	30.0%	15.5%	0.0%	0.0%	
	東部地域	434件	79.7%	76.5%	67.1%	11.3%	39.2%	16.6%	0.5%	0.0%	
	中部地域	280件	80.7%	78.9%	65.7%	13.2%	39.3%	17.1%	1.1%	0.0%	
	志太榛原・中東遠地域	408件	80.1%	76.7%	63.5%	12.5%	38.7%	17.9%	0.7%	0.0%	
	西部地域	402件	75.4%	80.3%	63.7%	18.9%	37.8%	16.2%	1.2%	0.2%	

※  は、各属性の最も高い割合を示す。次ページ以降同様

図2（問1属性別結果）

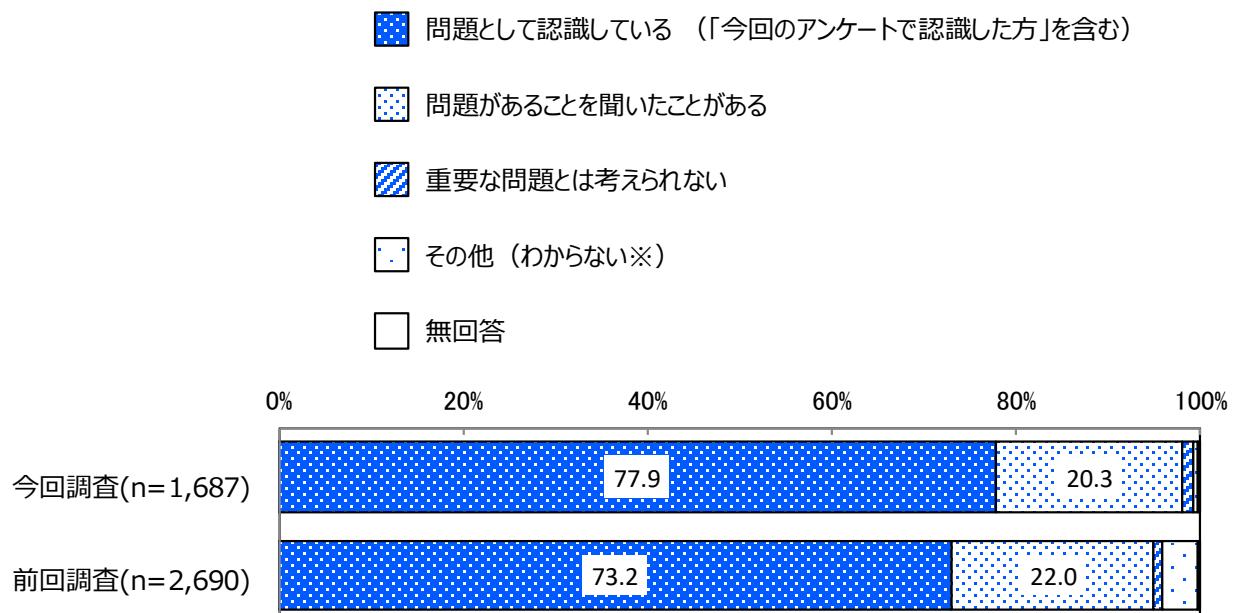
3. 「森の力」が低下することに対する問題意識

(問2) 間伐が遅れた人工林、災害にあった人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。(単一回答)

「森の力」が低下することに対する問題意識について「問題として認識している」(77.9%)が最も高く、次いで「問題があることを聞いたことがある」(20.3%)、「重要な問題とは考えられない」(1.1%)となっている。

なお、「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合は98.2%と、ほとんどの方が「森の力」の低下について問題意識を持つ結果となった。

前回調査との差が最も大きい項目は「問題として認識している」であり、今回調査が4.7ポイント上回っている。



※前回調査では「わからない」であった

※5%未満はラベル非表示

図3 (問2全体結果)

年代別にみると、「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合は、どの年代も9割を超えており、30代（99.2%）が最も高くなっている。

地域別にみると、「森の力」の低下について問題意識を持つ割合に大きな差はみられない。

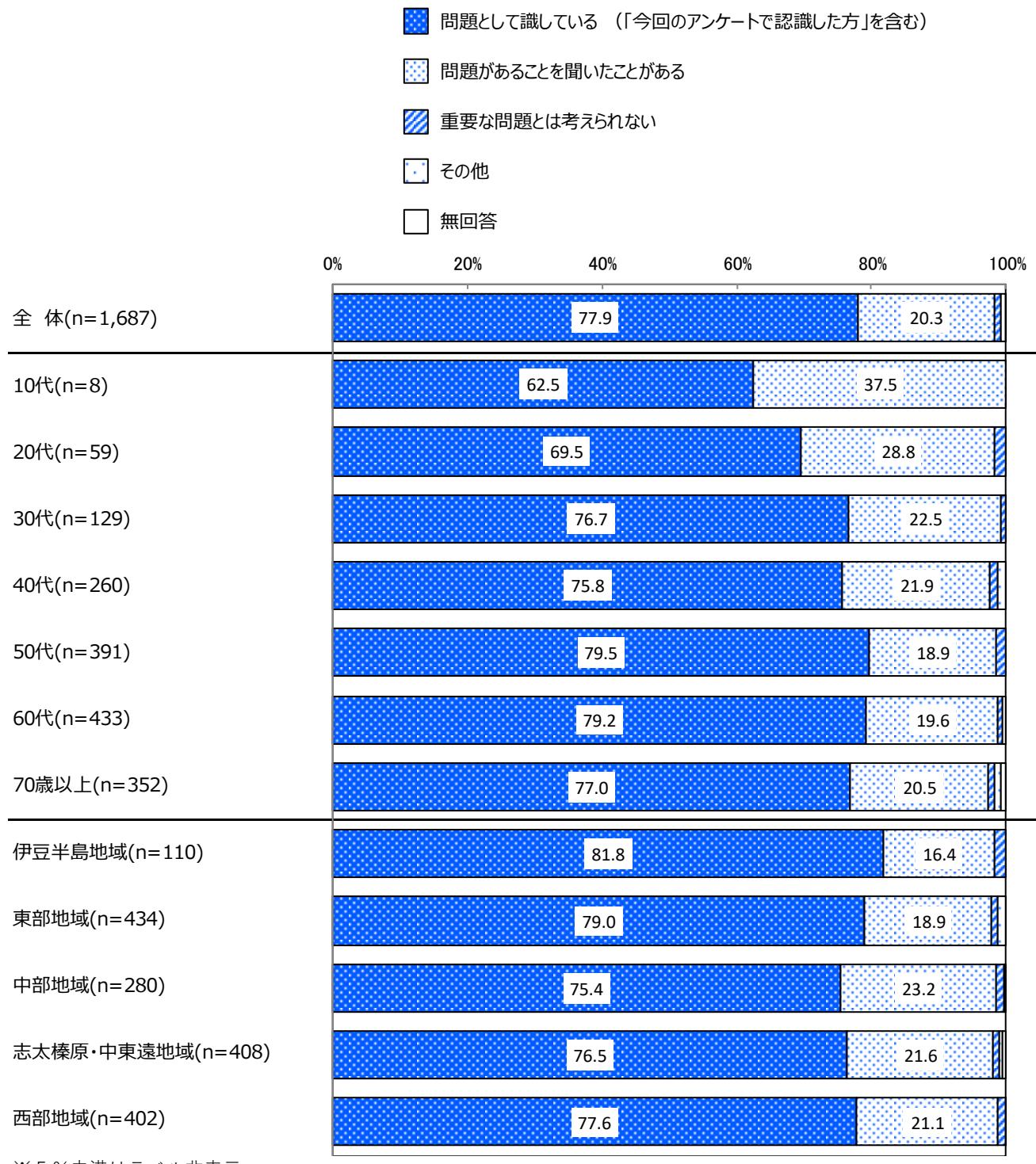


図4（問2属性別結果）

4. 「森の力再生事業」への評価

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林（もり）づくり県民税」をご負担いただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、令和7年度末までに約2万3千ヘクタール（浜名湖約3個分の面積）の荒廃森林の整備が完了し「森の力」が回復される見込みです。このことについて、どのようにお考えですか。（単一回答）

「森の力再生事業」への評価について「評価できる（良いことである）」（48.2%）が最も高く、次いで「大いに評価できる（大変良いことである）」（45.1%）、「あまり評価できない」（2.9%）となっている。

なお、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合は93.3%と、ほとんど方が「森の力再生事業」を評価している結果となった。

前回調査との差が最も大きい項目は「大いに評価できる（大変良いことである）」であり、今回調査が3.8ポイント上回っている。

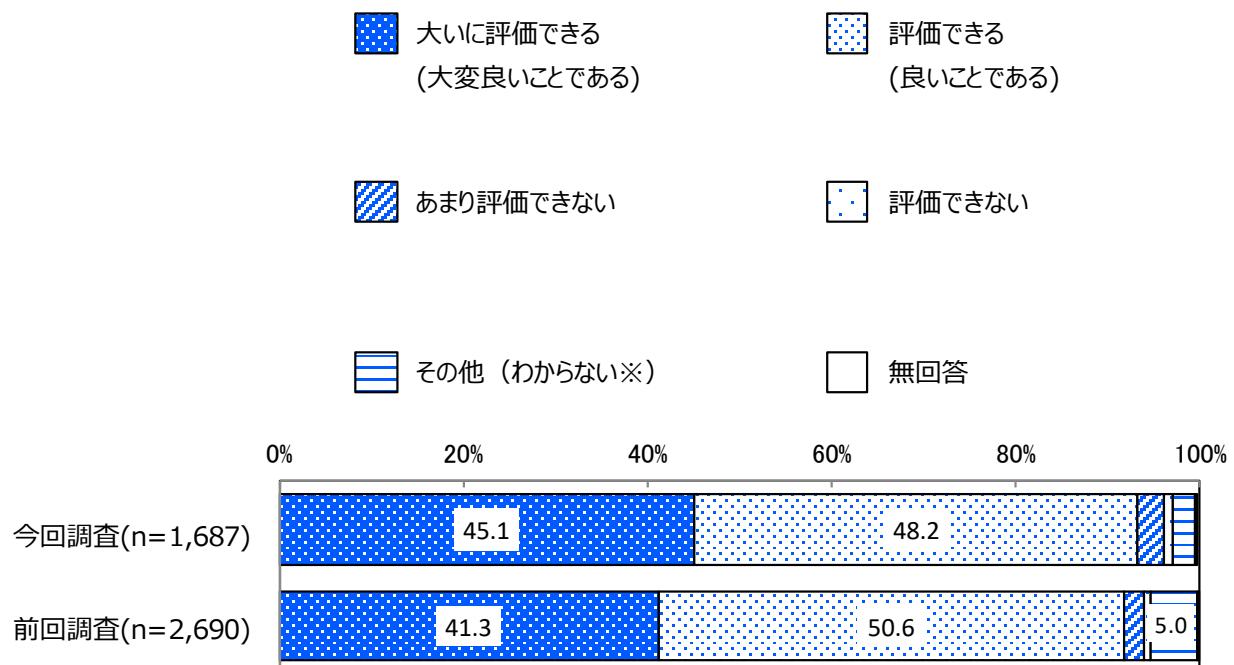


図5 (問3全体結果)

年代別にみると、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合は、どの年代も9割を超えて高くなっています。20代（96.6%）が最も高くなっています。

地域別にみると、「大いに評価できる（大変良いことである）」は伊豆半島地域（50.9%）が唯一5割を超えて最も高く、東部地域（41.2%）が最も低くなっています。

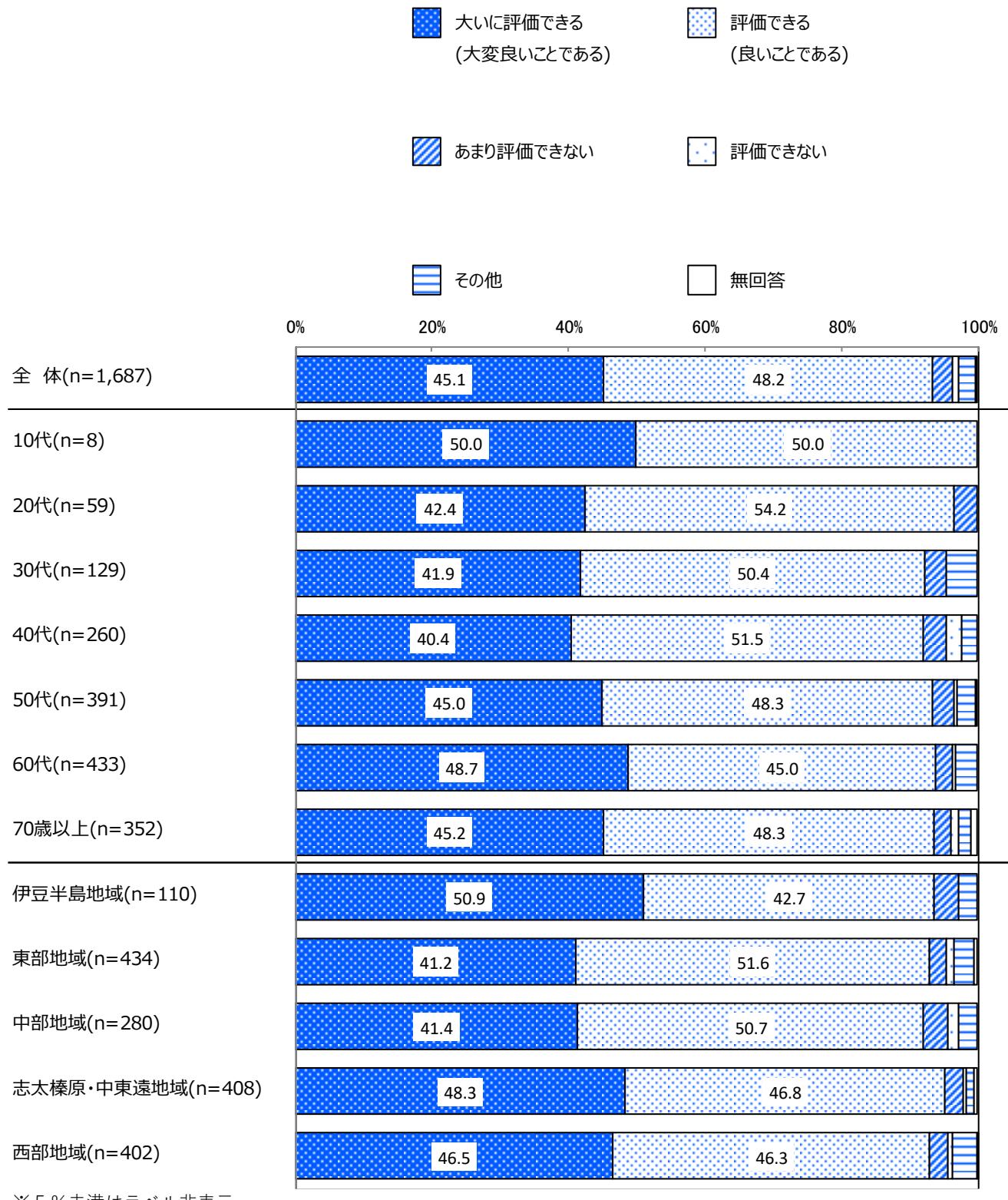


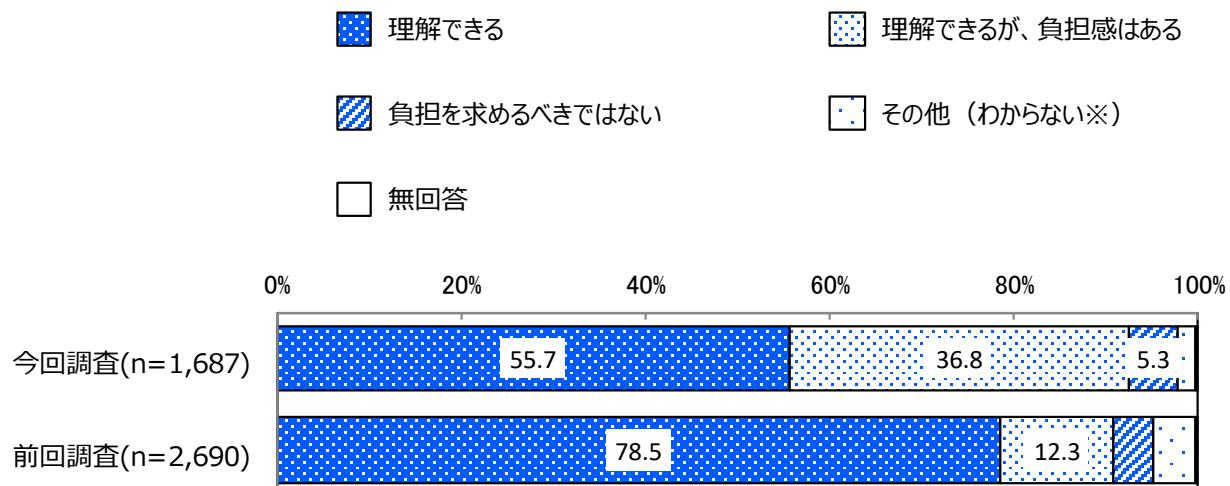
図6（問3属性別結果）

5. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度

（問4）市町は「森林環境税」（国税）を活用し、人家や道路付近の危険木の伐採などの身近な森林整備を進めています。一方で、県は「森林（もり）づくり県民税」を活用し、緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組んでいます。あなたは、「森林（もり）づくり県民税」を負担することについて、どのようにお考えですか。
(単一回答)

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度について「理解できる」（55.7%）が最も高く、次いで「理解できるが、負担感はある」（36.8%）、「負担を求めるべきでない」（5.3%）となっている。

前回調査との差が最も大きい項目は「理解できるが、負担感はある」であり、今回調査が 24.5 ポイント上回っている。



※前回調査では「わからない」であった

※ 5 %未満はラベル非表示

図7 (問4全体結果)

年代別にみると、「理解できる」はどの年代も最も高く、30代から年代が上がるにつれて高くなっている。一方で「理解できるが、負担感はある」は年代が上がるにつれて、おおむね低い傾向がみられた。

地域別にみると、「理解できる」は伊豆半島地域が60.0%と最も高く、西部地域が53.2%で最も低くなっている。

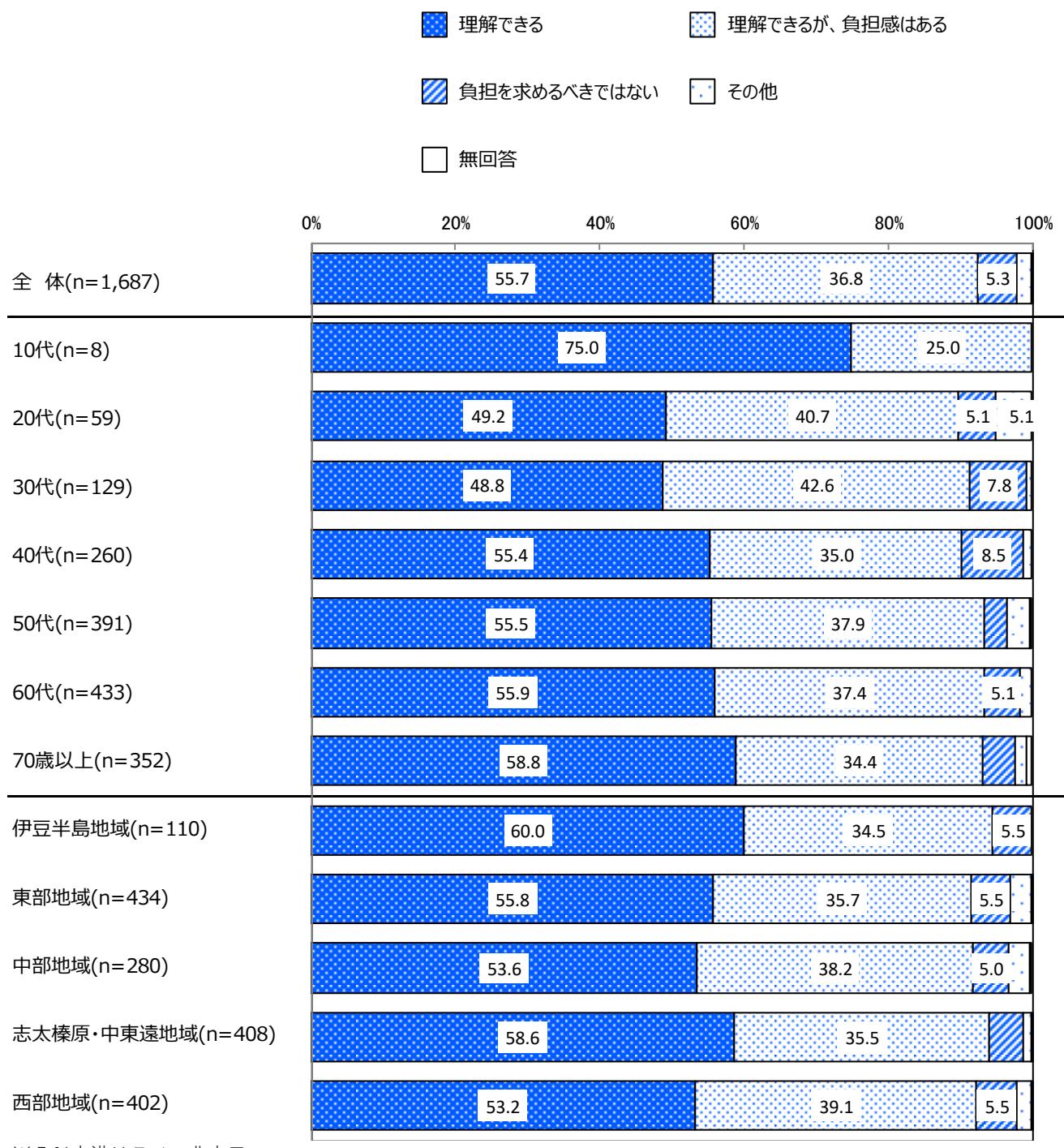


図8（問4属性別結果）

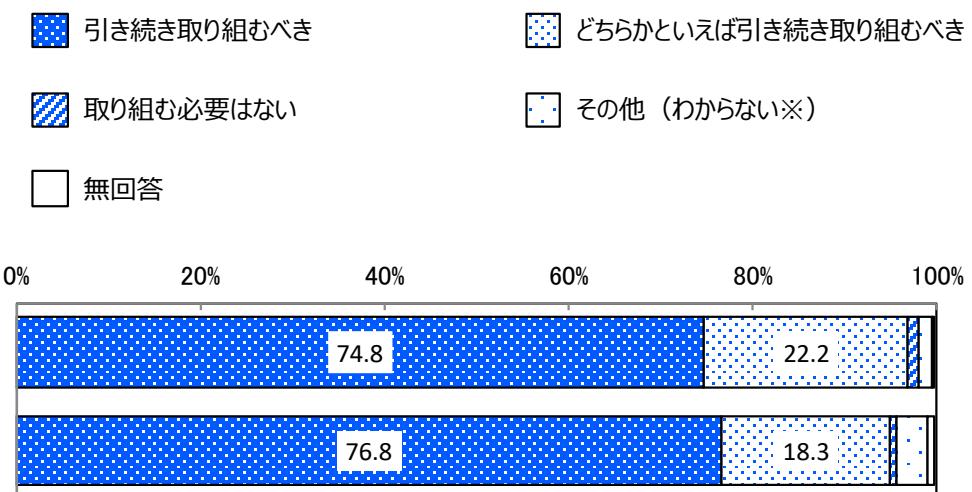
6. 「森の力再生事業」の継続に対する判断

(問5) 県が、市町との役割を明確に分担しながら、引き続き、新たに確認された緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組むことについて、どのようにお考えですか。
(単一回答)

「森の力再生事業」の継続に対する判断について「引き続き取り組むべき」(74.8%) が最も高く、次いで「どちらかといえば引き続き取り組むべき」(22.2%)、「その他」(1.4%) となっている。

なお、「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた取り組みに肯定的な割合は 97.0% と、ほとんどの方が「森の力再生事業」の継続を望む結果となった。

前回調査との差が最も大きい項目は「どちらかといえば引き続き取り組むべき」であり、今回調査が 3.9 ポイント上回っている。



※前回調査では「わからない」であった

※ 5 %未満はラベル非表示

図9 (問5全体結果)

年代別にみると、「引き続き取り組むべき」は30代を除く年代で7割を超えて高くなっている。また、「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた取り組みに肯定的な割合は、20代が100.0%と最も高い結果となった。

地域別にみると、すべての地域で「森の力再生事業」の継続を望む割合が高く、大きな差はみられない。

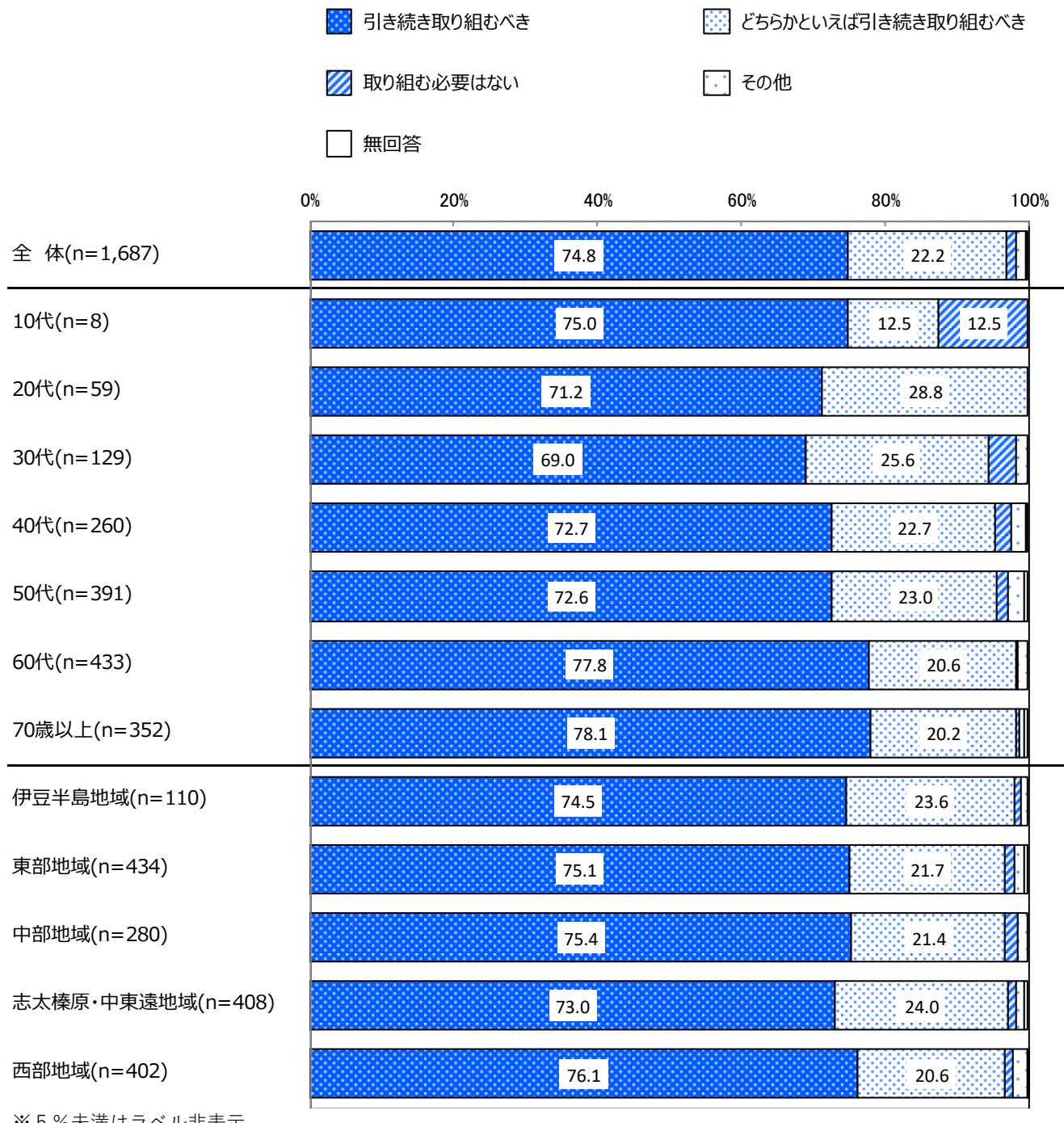


図 10 (問 5 属性別結果)

7. 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度別の分析

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度（問4）を軸として、問1から問3、問5の回答のクロス集計を行った。

（問1）森林に期待する動き

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」や「水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き」、「二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き」などへの期待が高くなっている。

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ否定的な方は肯定的な方よりも「木材等を生産する働き」への期待が高くなっている。

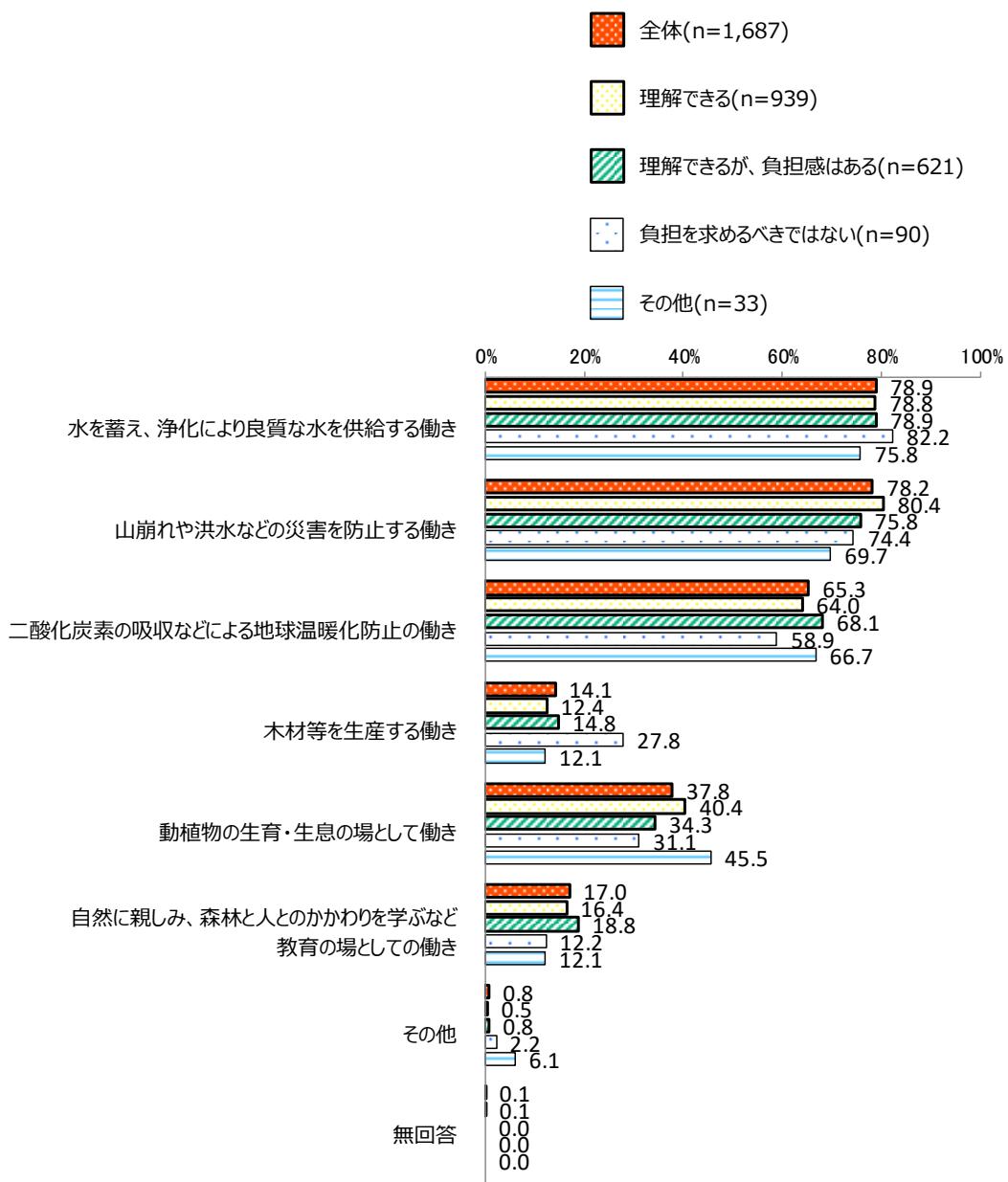


図11（問4×問1）

(問2) 「森の力」が低下することに対する問題意識

「森の力」が低下することに対する問題意識は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高い傾向がある。

「問題として認識している」と「問題があることを聞いたことがある」を合わせた問題を認知している割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど高くなっている。

「森林（もり）づくり県民税」の負担に否定的な方ほど、「問題として認識している」の割合が低いことから、「森林（もり）づくり県民税」の必要性を周知することが重要であると考えられる。

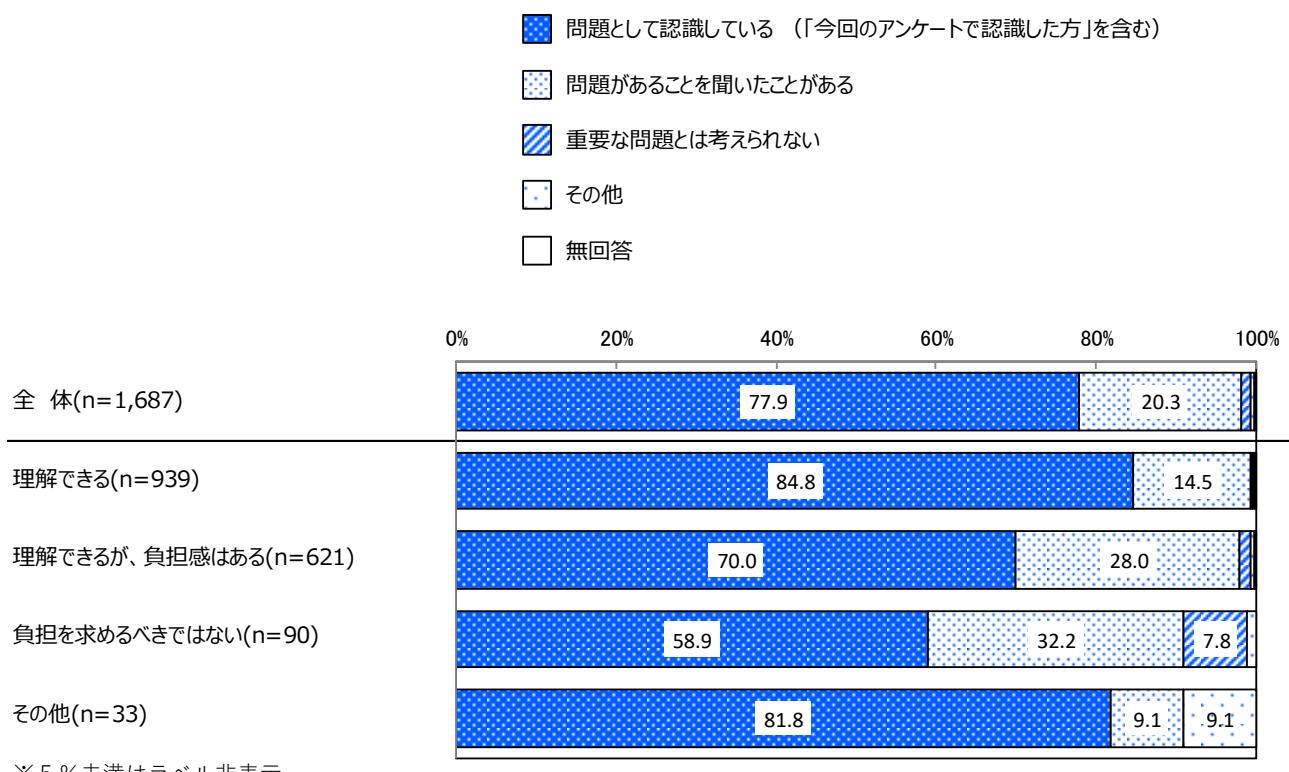
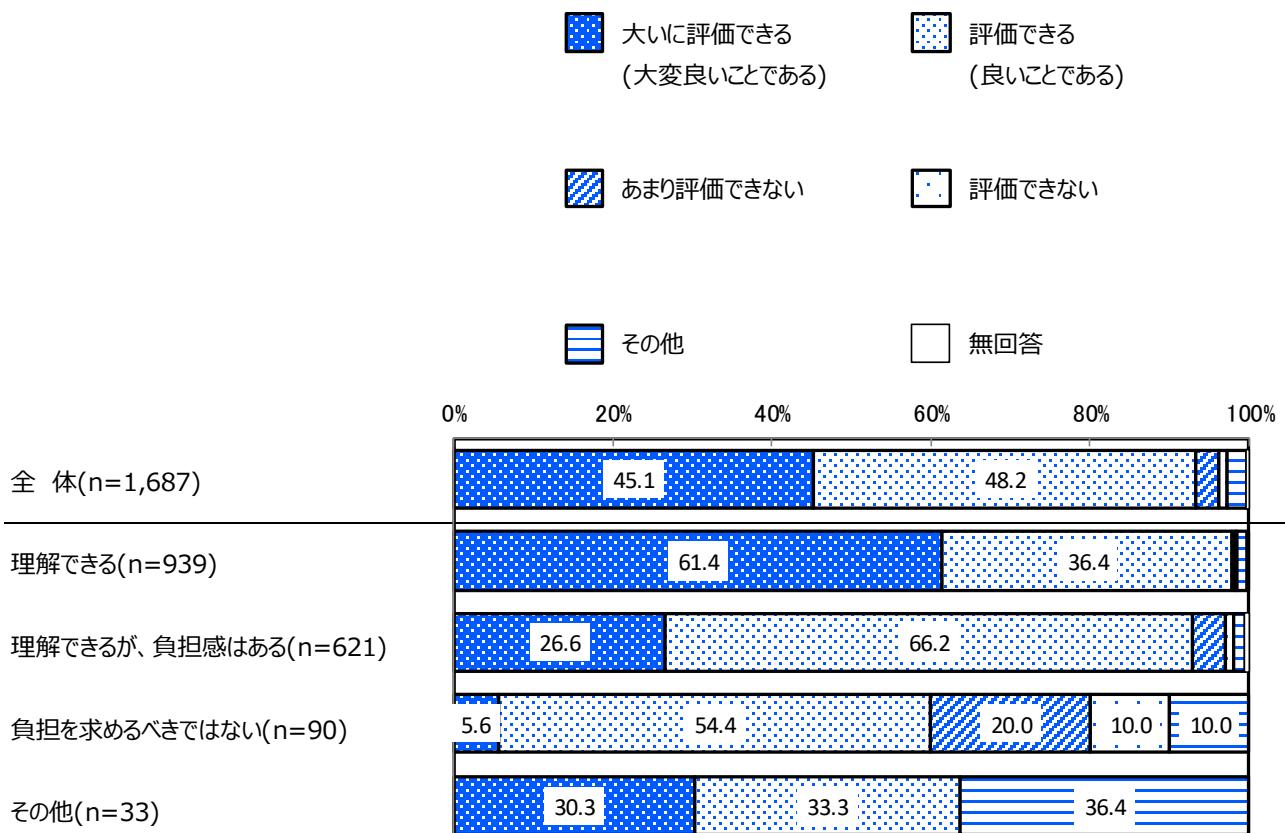


図 12 (問4×問2)

(問3) 「森の力再生事業」への評価

「森の力再生事業」への評価は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高くなっている。

「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価している割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへ肯定的な方ほど高くなっている。



※ 5 %未満はラベル非表示

図 13 (問4×問3)

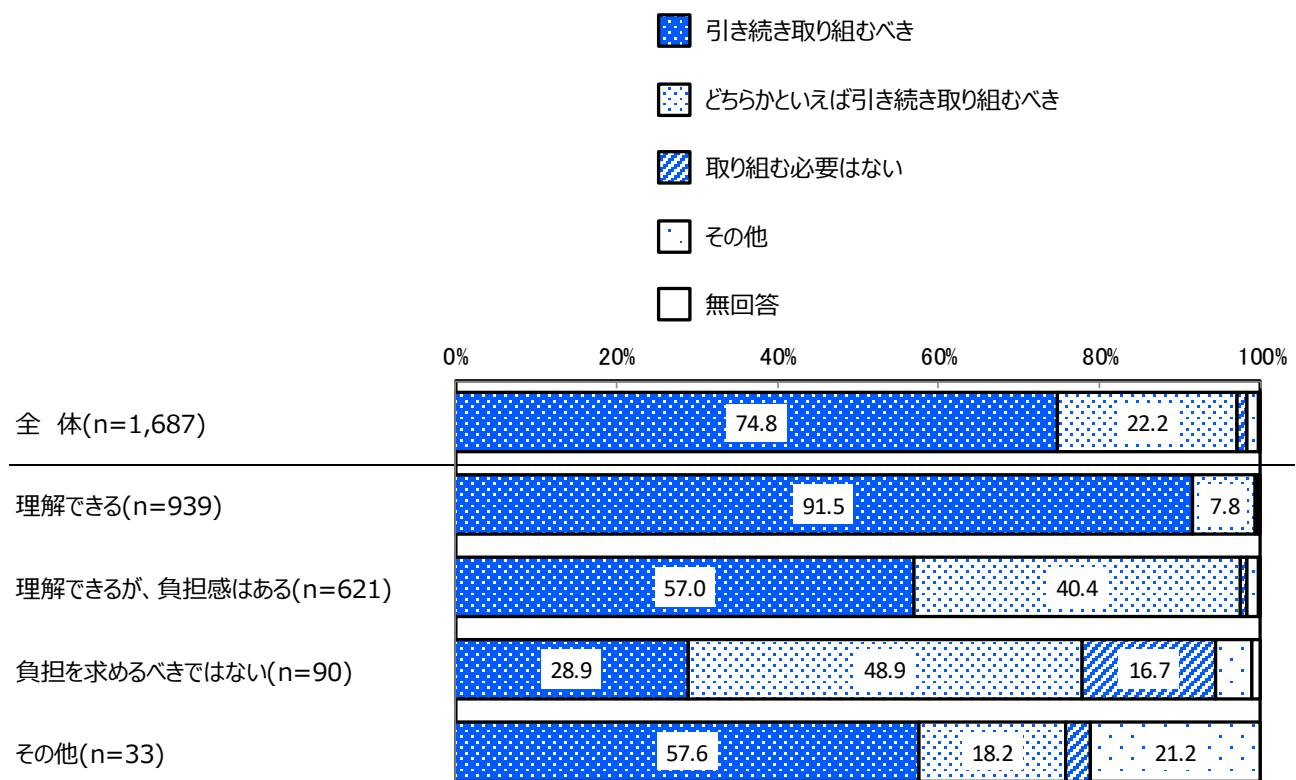
(問5)「森の力再生事業」の継続に対する判断

「森の力再生事業」の継続に対する判断は、「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度が高くなるにつれ、高くなっている。

特に、再生事業の継続を「理解できる」と回答した方の9割以上が「引き続き取り組むべき」と回答している。

「引き続き取り組むべき」と「どちらかといえば引き続き取り組むべき」を合わせた「森の力再生事業」の継続することへの肯定的な割合について、「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの肯定的な方ほど高くなっている。

また、「森林（もり）づくり県民税」の負担について否定的な方の7割以上が「森の力再生事業」の継続を求める結果となっている。



※ 5 %未満はラベル非表示

図 14 (問4×問5)

III 調査結果数表

(問1) 静岡県の県土の3分の2を占めている森林は私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。

(3つまで回答)

		回答数	良水質をなす水を、供給化するによる働き	を山崩れする洪水を、供給化するによる災害	働きによる酸化球炭温素暖の化吸防収止などの災害	木材等を生産する働き	としての働き・生息の場	動植物の働き・生息の場	教育と自然の場かに親しむを、の学ぶ森林の働きなど人	その他	無回答
全 体		1,687件	1,331件 78.9%	1,319件 78.2%	1,101件 65.3%	238件 14.1%	638件 37.8%	287件 17.0%	14件 0.8%	1件 0.1%	
年 代 別	10代	8件	62.5%	62.5%	75.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	
	20代	59件	64.4%	61.0%	61.0%	20.3%	57.6%	16.9%	0.0%	0.0%	
	30代	129件	70.5%	76.0%	58.9%	13.2%	45.0%	20.2%	0.0%	0.0%	
	40代	260件	81.2%	76.2%	59.2%	17.3%	39.2%	20.0%	1.2%	0.0%	
	50代	391件	78.8%	77.2%	69.1%	14.6%	37.6%	15.3%	1.3%	0.0%	
	60代	433件	80.6%	81.8%	67.4%	9.9%	37.4%	14.1%	0.5%	0.0%	
	70歳以上	352件	79.8%	80.7%	65.6%	16.2%	32.1%	17.9%	0.9%	0.3%	
地 域 別	伊豆半島地域	110件	75.5%	80.9%	68.2%	17.3%	30.0%	15.5%	0.0%	0.0%	
	東部地域	434件	79.7%	76.5%	67.1%	11.3%	39.2%	16.6%	0.5%	0.0%	
	中部地域	280件	80.7%	78.9%	65.7%	13.2%	39.3%	17.1%	1.1%	0.0%	
	志太榛原・畠東遠地域	408件	80.1%	76.7%	63.5%	12.5%	38.7%	17.9%	0.7%	0.0%	
	西部地域	402件	75.4%	80.3%	63.7%	18.9%	37.8%	16.2%	1.2%	0.2%	

(問2) 間伐が遅れた人工林、災害にあった人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。(单一回答)

		回答数	認へ問題し今とた回し方のて「ア認をン識含ケしむ」いてトいでのる	こ問題ががああるることを聞いた	ら重要な問題とは考え	その他	無回答
全 体		1,687件	1,315件 77.9%	342件 20.3%	19件 1.1%	8件 0.5%	3件 0.2%
年 代 別	10代	8件	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	59件	69.5%	28.8%	1.7%	0.0%	0.0%
	30代	129件	76.7%	22.5%	0.8%	0.0%	0.0%
	40代	260件	75.8%	21.9%	1.2%	1.2%	0.0%
	50代	391件	79.5%	18.9%	1.5%	0.0%	0.0%
	60代	433件	79.2%	19.6%	0.7%	0.5%	0.0%
	70歳以上	352件	77.0%	20.5%	0.9%	0.9%	0.9%
地 域 別	伊豆半島地域	110件	81.8%	16.4%	1.8%	0.0%	0.0%
	東部地域	434件	79.0%	18.9%	0.9%	1.2%	0.0%
	中部地域	280件	75.4%	23.2%	1.1%	0.4%	0.0%
	志太榛原・ 中 東遠地域	408件	76.5%	21.6%	1.0%	0.5%	0.5%
	西部地域	402件	77.6%	21.1%	1.0%	0.0%	0.2%

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林（もり）づくり県民税」をご負担いただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、令和7年度末までに約2万3千ヘクタール（浜名湖約3個分の面積）の荒廃森林の整備が完了し「森の力」が回復される見込みです。このことについて、どのようにお考えですか。（単一回答）

		回答数	（大変良い評価とできる）	（良い評価でできる）	あまり評価できない	評価できない	その他	無回答
全 体		1,687件	761件 45.1%	813件 48.2%	49件 2.9%	16件 0.9%	43件 2.5%	5件 0.3%
年 代 別	10代	8件	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	59件	42.4%	54.2%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	129件	41.9%	50.4%	3.1%	0.0%	4.7%	0.0%
	40代	260件	40.4%	51.5%	3.5%	2.3%	2.3%	0.0%
	50代	391件	45.0%	48.3%	3.1%	0.5%	2.8%	0.3%
	60代	433件	48.7%	45.0%	2.5%	0.5%	3.2%	0.0%
	70歳以上	352件	45.2%	48.3%	2.6%	1.1%	1.7%	1.1%
地 域 別	伊豆半島地域	110件	50.9%	42.7%	3.6%	0.0%	2.7%	0.0%
	東部地域	434件	41.2%	51.6%	2.5%	1.2%	3.0%	0.5%
	中部地域	280件	41.4%	50.7%	3.6%	1.4%	2.9%	0.0%
	志太榛原・ 中 東遠地域	408件	48.3%	46.8%	2.7%	0.5%	1.2%	0.5%
	西部地域	402件	46.5%	46.3%	2.7%	0.7%	3.5%	0.2%

(問4) 市町は「森林環境税」(国税)を活用し、人家や道路付近の危険木の伐採などの身近な森林整備を進めています。一方で、県は「森林(もり)づくり県民税」を活用し、緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組んでいます。あなたは、「森林(もり)づくり県民税」を負担することについて、どのようにお考えですか。

(単一回答)

		回答数	理解できる	は理あ解るできるが、負担感	な負い担を求めるべきでは	その他	無回答
全 体		1,687件	939件 55.7%	621件 36.8%	90件 5.3%	33件 2.0%	4件 0.2%
年 代 別	10代	8件	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代	59件	49.2%	40.7%	5.1%	5.1%	0.0%
	30代	129件	48.8%	42.6%	7.8%	0.8%	0.0%
	40代	260件	55.4%	35.0%	8.5%	1.2%	0.0%
	50代	391件	55.5%	37.9%	3.1%	3.3%	0.3%
	60代	433件	55.9%	37.4%	5.1%	1.6%	0.0%
	70歳以上	352件	58.8%	34.4%	4.5%	1.4%	0.9%
地 域 別	伊豆半島地域	110件	60.0%	34.5%	5.5%	0.0%	0.0%
	東部地域	434件	55.8%	35.7%	5.5%	2.8%	0.2%
	中部地域	280件	53.6%	38.2%	5.0%	2.9%	0.4%
	志太榛原・ 中 東遠地域	408件	58.6%	35.5%	4.7%	1.0%	0.2%
	西部地域	402件	53.2%	39.1%	5.5%	2.0%	0.2%

(問5) 県が、市町との役割を明確に分担しながら、引き続き、新たに確認された緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組むことについて、どのようにお考えですか。
(单一回答)

		回答数	引き 続 き 取 り 組 む べき	引 き 続 き ど ち ら か 取 り 組 え む ば べき	取 り 組 む 必 要 と い 組 え む ば べき	取 り 組 む 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答
全 体		1,687件	1,262件 74.8%	374件 22.2%	22件 1.3%	24件 1.4%	5件 0.3%	
年 代 別	10代	8件	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	
	20代	59件	71.2%	28.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30代	129件	69.0%	25.6%	3.9%	1.6%	0.0%	
	40代	260件	72.7%	22.7%	2.3%	1.9%	0.4%	
	50代	391件	72.6%	23.0%	1.5%	2.3%	0.5%	
	60代	433件	77.8%	20.6%	0.2%	1.4%	0.0%	
	70歳以上	352件	78.1%	20.2%	0.6%	0.6%	0.6%	
地 域 別	伊豆半島地域	110件	74.5%	23.6%	0.9%	0.9%	0.0%	
	東部地域	434件	75.1%	21.7%	1.4%	1.4%	0.5%	
	中部地域	280件	75.4%	21.4%	1.8%	1.4%	0.0%	
	志太榛原・ 中 東遠地域	408件	73.0%	24.0%	1.2%	1.2%	0.5%	
	西部地域	402件	76.1%	20.6%	1.0%	2.0%	0.2%	

「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度別クロス集計

（問1）静岡県の県土の3分の2を占めている森林は私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。

（3つまで回答）

		回答数	良水質を蓄え、水を供給化するにより働き	を山崩れする洪水の災害	働きによる酸化二酸化炭素の暖化吸収などに	木材等を生産する働き	と動植物の働き生き生育・生息の場	教育と自然の場か親しむ、の学ぶ森林など人	その他	無回答
全 体	1,687件	1,331件 78.9%	1,319件 78.2%	1,101件 65.3%	238件 14.1%	638件 37.8%	287件 17.0%	14件 0.8%	1件 0.1%	
税の負担	理解できる 理解できるが、負担感はある 負担を求めるべきではない その他	939件 621件 90件 33件	78.8% 78.9% 82.2% 75.8%	80.4% 75.8% 74.4% 69.7%	64.0% 68.1% 58.9% 66.7%	12.4% 14.8% 27.8% 12.1%	40.4% 34.3% 31.1% 45.5%	16.4% 18.8% 12.2% 12.1%	0.5% 0.8% 2.2% 6.1%	0.1% 0.0% 0.0% 0.0%

（問2）間伐が遅れた人工林、災害にあった人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。（単一回答）

		回答数	認へ問題し今とた回し方のて「ア認をン識含ケしむ」てる	こ問題がああることを聞いた	られなさい問題とは考え	その他	無回答
全 体	1,687件	1,315件 77.9%	342件 20.3%	19件 1.1%	8件 0.5%	3件 0.2%	
税の負担	理解できる 理解できるが、負担感はある 負担を求めるべきではない その他	939件 621件 90件 33件	84.8% 70.0% 58.9% 81.8%	14.5% 28.0% 32.2% 9.1%	0.3% 1.4% 7.8% 0.0%	0.2% 0.3% 1.1% 9.1%	0.2% 0.2% 0.0% 0.0%

(問3) 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林（もり）づくり県民税」をご負担いただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、令和7年度末までに約2万3千ヘクタール（浜名湖約3個分の面積）の荒廃森林の整備が完了し「森の力」が回復される見込みです。このことについて、どのようにお考えですか。（単一回答）

		回答数	（大変大きい評価とできる）	（良い価値であります）	あまり評価できない	評価できない	その他	無回答
全 体	1,687件	761件 45.1%	813件 48.2%	49件 2.9%	16件 0.9%	43件 2.5%	5件 0.3%	
税の負担	理解できる 理解できるが、負担感はある 負担を求めるべきではない その他	939件 621件 90件 33件	61.4% 26.6% 5.6% 30.3%	36.4% 66.2% 54.4% 33.3%	0.4% 4.3% 20.0% 0.0%	0.1% 1.0% 10.0% 0.0%	1.4% 1.4% 10.0% 36.4%	0.2% 0.5% 0.0% 0.0%

(問5) 県が、市町との役割を明確に分担しながら、引き続き、新たに確認された緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組むことについて、どのようにお考えですか。

（単一回答）

		回答数	引き続き取り組むべき	引き続き取り組むべき	取り組む必要はない	その他	無回答
全 体	1,687件	1,262件 74.8%	374件 22.2%	22件 1.3%	24件 1.4%	5件 0.3%	
税の負担	理解できる 理解できるが、負担感はある 負担を求めるべきではない その他	939件 621件 90件 33件	91.5% 57.0% 28.9% 57.6%	7.8% 40.4% 48.9% 18.2%	0.0% 1.0% 16.7% 3.0%	0.4% 1.4% 4.4% 21.2%	0.3% 0.2% 1.1% 0.0%

IV 調査票



アンケート回答の前に同封の
説明資料をご覧ください

未来への森づくり県民意識アンケート ～「森の力再生事業」と「森林（もり）づくり県民税」について～

アンケートご協力のお願い

- ・静岡県では、「荒廃した森林」の再生を目的に「森の力再生事業」を実施するため、平成18年4月から「森林（もり）づくり県民税」を導入しています。
- ・「森の力再生事業」は現在、第2期の10年計画（H28～R7）に基づいて整備を進めており、令和7年度末には約2万3千haの整備が完了する見込です。
- ・一方で、近年の頻発する集中豪雨やシカによる深刻な食害を踏まえ、森林の現況を調査した結果、荒廃森林が新たに確認されました。
- ・このアンケートは「森の力再生事業」と「森林（もり）づくり県民税」に対する県民の皆様の意見や意識を把握し、今後の荒廃森林への対応を検討するための基礎資料とします。
- ・このアンケートは、県内の選挙人名簿より無作為に抽出した方を対象とし、調査目的以外で使用することはありません。
- ・アンケートは同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月22日（火）までに、ご投函くださいますようお願いします。
- ・アンケート集計結果は、県森林計画課ホームページで公表します。

ご記入に際してのお願い

- (1) アンケートは、このページを含め、全部で4ページです。
- (2) このアンケートは、宛名のご本人様にご記入をお願いします。
(ただし、ご本人様が長期不在などのご事情がある場合には、ご本人様に代わって、ご家族の方などがお答えください)。
- (3) 「その他」をご選択された場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- (4) このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いします。

(調査主体) 静岡県 経済産業部 森林・林業局 森林計画課

住 所 静岡市葵区追手町9-6

電話番号 054-221-2668

fax 054-221-2829

E-mail shinrinkeikaku@pref.shizuoka.lg.jp

※アンケートの返信先「株式会社東京商工リサーチ静岡支店」は、
静岡県のアンケート調査業務の委託先です

【問1】静岡県の県土の3分の2を占めている森林は、私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらしています。あなたは、森林にどのような働きを期待していますか。

(特に期待する内容について3つまで○をつけてください。) ※ 同封の説明資料P1参照

- 1 水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き
- 2 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 3 二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き
- 4 木材等を生産する働き
- 5 動植物の生育・生息の場としての働き
- 6 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き
- 7 その他 (具体的に :)

【問2】間伐が遅れた人工林、災害にあった人工林、放置された竹林など荒廃した森林が見られ、「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください。) ※ 同封の説明資料P1参照

- 1 問題として認識している (「今回のアンケートで認識した方」を含む)
- 2 問題があることを聞いたことがある
- 3 重要な問題とは考えられない
- 4 その他 (具体的に :)

【問3】静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林（もり）づくり県民税」をご負担いただき、「森の力再生事業」を実施してきました。この事業により、令和7年度末までに約2万3千ヘクタール（浜名湖約3個分の面積）の荒廃森林の整備が完了し「森の力」が回復される見込みです。このことについて、どのようにお考えですか。

(1つだけ○をつけてください。) ※ 同封の説明資料P2参照

- 1 大いに評価できる (大変良いことである)
- 2 評価できる (良いことである)
- 3 あまり評価できない
- 4 評価できない
- 5 その他 (具体的に :)

【問4】市町は「森林環境税」（国税）を活用し、人家や道路付近の危険木の伐採などの身近な森林整備を進めています。一方で、県は「森林（もり）づくり県民税」を活用し、緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組んでいます。あなたは、「森林（もり）づくり県民税」を負担することについて、どのようにお考えですか。

（1つだけ○をつけてください。）

※ 同封の説明資料 P1、4 参照

- 1 理解できる
- 2 理解できるが、負担感はある
- 3 負担を求めるべきでない
- 4 その他（具体的に：）

【問5】県が、市町との役割を明確に分担しながら、引き続き、新たに確認された緊急に整備すべき荒廃森林の再生に取り組むことについて、どのようにお考えですか。

（1つだけ○をつけてください）

※ 同封の説明資料 P3、4 参照

- 1 引き続き取り組むべき
- 2 どちらかといえば引き続き取り組むべき
- 3 取り組む必要はない
- 4 その他（具体的に：）

【問6】「森の力再生事業」や「森林（もり）づくり県民税」について、ご意見、ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。（できましたら 200 字以内でお願いします。）

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

今までお答えいただいた結果を統計的に分析するために、ご自身のことについて、おたずねします。

【問7】あなたの年齢はいくつですか。(1つだけ○をつけてください。)

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 |
| 5 50代 | 6 60代 | 7 70歳以上 | |

【問8】あなたのお住まいの市町を教えてください。(1つだけ○をつけてください。)

〔伊豆半島地域〕

- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1 熱海市 | 2 伊東市 | 3 下田市 | 4 伊豆市 |
| 5 伊豆の国市 | 6 東伊豆町 | 7 南伊豆町 | 8 河津町 |
| 9 松崎町 | 10 西伊豆町 | | |

〔東部地域〕

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 11 沼津市 | 12 三島市 | 13 富士宮市 | 14 富士市 |
| 15 御殿場市 | 16 裾野市 | 17 函南町 | 18 清水町 |
| 19 長泉町 | 20 小山町 | | |

〔中部地域〕

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|--|
| 21 静岡市葵区 | 22 静岡市駿河区 | 23 静岡市清水区 | |
|----------|-----------|-----------|--|

〔志太榛原・中東遠地域〕

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 24 島田市 | 25 磐田市 | 26 焼津市 | 27 掛川市 |
| 28 藤枝市 | 29 袋井市 | 30 御前崎市 | 31 菊川市 |
| 32 牧之原市 | 33 吉田町 | 34 川根本町 | 35 森町 |

〔西部地域〕

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|--------|
| 36 浜松市中央区 | 37 浜松市浜名区 | 38 浜松市天竜区 | 39 湖西市 |
|-----------|-----------|-----------|--------|

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケートは同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、7月22日(火)までに、ご投函をお願いします。

未来への森づくり県民意識調査
報告書

令和7年9月

編集・発行：静岡県森林計画課

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2668